

第6回流山市全市コミュニティ推進委員会会議録要旨

- 1 日 時 平成23年2月14日（月） 午後6時
- 2 場 所 市民活動推進センター第4会議室
- 3 出席委員 相川 征治 委員長、狼 正久 副委員長
梅谷 秀治 委員、河村 栄夫 委員
染野 智司 委員、野路 烝一 委員
大塚 喜重 委員、倉田 繁夫 委員
- 4 欠席委員 関谷 昇 委員
- 5 事務局職員 兼子 潤一 コミュニティ課長
高橋 とし子 コミュニティ課長補佐
須郷 和彦 コミュニティ係長
- 6 協議事項 (1) 応募グループの支援について
(2) ヒアリングについて
(3) モデル地区の選定について
- 7 協議状況 開 会 午後 6時00分
閉 会 午後 8時20分

I. 応募した2地区の支援状況について

(1) 流山小学校区について

- ・ 2月4日に相川委員長、河村委員、梅谷委員で、青野氏と意見交換。
- ・ 2日の直後のため大きな変更点、疑問点、進展はなし。
- ・ 菜の花を中心に現事業計画をつめて、16日のヒアリングに臨む。
- ・ すべての自治会にも話をしており、さらに市民団体にも声をかけていきたいとのこと。
- ・ 事業内容と補助金の割り振りを、学校・高齢者・研修に20・20・10としているが、この点についてはじっくり検討したいとのこと。
- ・ (河村委員から)自治会連合をだしたほうがよいのではという意見は出しておいた。
- ・ 安心安全費についてはよく見えない。

委員より

- ・ 構成員が役員ばかりなので、それ以外の人はどうなのかという点が気になる。資料5の会則(案)の第3条で役員をもって構成するとなっているので、これで決めてしまうと非常に入りづらいものになるのではないかと。

(2) 新川小学校区について

- ・ 1月31日提出の資料では、全容がわかりきっていないということで、2月4日および10日の2回、相川委員長・染野委員・狼委員と先方の中心者2名で意見交換。
- ・ 地域について委員にも理解してもらいたい。

当地区には、西深井、新川、江戸川台があるが、江戸時代以前から代々住んでいる方々と江戸時代に入植され

た方々、長く住みついている農家の方々、江戸川台の開発（50年前）と一致する形で開発され続けている団地があちこちにある大変混然としている地域である。

自治会も20あるが、大きいのは江戸川台西が1300戸あり、そのうちの300戸が新川と関係がある。その次に大きい美原自治会が900戸、次は800戸だが、それ以外は100戸とか200戸という自治会が多く、協議会をつくろうといっても難しかった。その中で、コミュネット流山というNPOがあり、江川さんもその出であり、積極的に考える人たちが手を挙げてくれた。そこに、ホテル野とGreenが参加してくれた状況であり、自治会としては江戸川台西と富士見台が参加している。

バラバラでたまたま学区が一緒だったという人たちを地域に目を向けさせなくてはならないので、そのためにイベントを組みながら地域の人たちを巻き込んでいこうという作業になった。

- ・ 子どもを中心にまちを眺めて、問題点があるかどうか検討していく。（子ども→学校・自然・おまつり）
- ・ 防犯・防災の問題については、地区の成り立ちや小ぶりの住宅地や街道による地区の分断により、問題解決の環境がまだ整えられていない。
- ・ まず、子どもを軸に、地区内のイベントをやり、そこに20自治会のうち半分でも座ってくれたら、次に高齢者についても考えていくというように段階的に進める。
- ・ 月次報告・HPの立ち上げ、ニュースの発行をもとに自治会等々の理解を深め、協議会を大きくしていけばよいと考える。
- ・ 事業については、2番の地域の課題・お宝発見と3番の地域の自然・お宝発見を中心とし、4番の新川小サポート活動については、現状は2人で予習の手伝いをしているが、5年生で手一杯の状態なので、もっと広げられる可能性はあるが、

校長が変わるので、これから校長と話さなくてはならない。

- ・ ホタルについても生物多様性ということで生物全般の体験とし、コメ作り等も含め、これらを協議会で行えば、広く、質の向上も期待される。
- ・ 協議会としてやるとなると大勢の人が集まる期待がある。
- ・ 地区社協については、子ども中心なので、まずは学校と考えている。→八木南の例もあり、地区社協も大きな柱になるのではないか。

委員より

- ・ 漠然と活動費としている点が不明瞭。
- ・ 人数が多く参加したことが成功ではなくて、いくつの自治会が参加してくれたかが重要である。
- ・ 事業が単発で終わらないように、どの程度の継続性が見込めるかが重要である。波及性と継続性とあるが、協議会としては、事業が単発で終わるのでは意味がない。

II. 補助金申請について

- ・ 安心安全というと、どこの自治会でもやっているのではないかということになりやすいので、こういうことに着手するということを明確にする。
- ・ 補助金を申請するにあたり、市は事業に対して出すのであって、飲食には出さない。報告によりチェックする。
- ・ 申請については、細かく基準を決めることはできるが、現段階ではあまり細かくはしない。
- ・ 餅つきの材料はOK、タウンウォッチングの時のペットボトルはどうなるか。→公益は認められている。
- ・ いずれにしても基準は必要であり、季節や子ども相手であるということも考慮に入れてほしい。
- ・ 補助金として不適切なものは排除する。
→不適切なものを指示。公益事業を参考にして議論する。

コミュニティ課より補助金の基準表については後日流す。

Ⅲ. ヒアリングについて

2月16日（水）

10時～12時 庁議室 流山小学校区

13時～14時 中央図書館会議室 新川小学校区

概ね1時間とし、先方より15分程度の発表。

以後質疑応答および意見交換。

参加団体の代表には参加してもらおうほうがよい。

司会はコミュニティ課

ヒアリング項目について（狼委員からの資料参照）

- ・（1）（2）はHPより。
- ・ 狼委員の資料を参考にして、両団体は個性が異なるので、それぞれにあわせた質問をする。
- ・ 事業についての評価基準がどの辺にあるかということを伝えてほしい。
- ・ 事業の目標がしっかりしているかどうか、それによって1年後にはデビューできるかどうか。
- ・ 地域を広げて参加者を広げていく計画性があればよい。そういう計画性を求めたい。
→これから一緒にやっっていこうという合意の場とする。
- ・ 中間報告をやっていただきたいと考えている。協議会としてこういうことをやっている、こんなことをやりたい、こんなふうで解決しているといったことを発表してもらいたい。
→今、いつやるかということとは言わなくてもよいのではないか。※次回以降検討する。

IV. 今後のスケジュールについて

- ・ 本日の委員会で2地区は実質的には内定とし、形式的にはヒアリングを終えてから決定とする。
※16日のヒアリング終了後、委員会を開いて内定とし、行政が決裁し、通知が出される。

今後の課題（狼委員からの案を参照し、各自考えてくる）

1. 委員会の定例化・部会制について（委員会は10回の予算）
2. 委員の欠員補充について
3. モデル地区については25日までに決まるのか。
4. 来年度の公募について（早めにかける？）
5. モデル地区支援について。3月末以降も活動するのか。
6. 他地区協議会支援（13校区）を皆でやるのかどうか。
7. 自治会等活動団体支援
5月頃自治会長会議、10月頃自治会支援をやってはどうか。協議会シンポジウムをどうするか。
8. その他 質問をうけての回答・人材研修等

次回日程

- ・ 3月10日（木）14時から
 - ・ 今後について、狼委員案についての検討
 - ・ モデル地区の来年度について
 - ・ 来年度、再来年度についての検討
 - ・ 補助金要綱について（補助金の通知は4月）
→基準についてはコミュニティ課より流す。
- （・ 中間報告について）

（以 上）